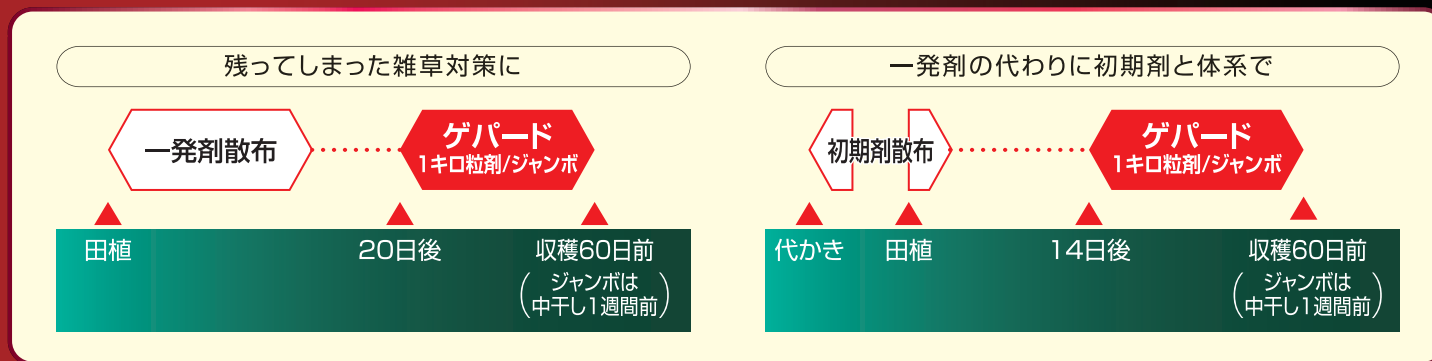




枯らせない雑草があった。
だから、
この除草剤を開発しました。

■ 散布適期



⚠ ジャンボ剤散布時の注意事項

- 処理前に浮遊物はできるだけ取り除いてください。
- 湛水深を5~6cmは確保してください。
- 藻や浮草が多発している水田ではジャンボの使用はさけてください。ゲバード1キロ粒剤の使用をおすすめします。
- 移植後30日以降に使用する場合は、バックが稲に引かからない大きさままでに散布してください。適期を過ぎてしまったらゲバード1キロ粒剤の使用をおすすめします。
- 短辺が30mを超える圃場では適宜水田内に入って散布してください。

⚠ 使用上の注意事項

- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布してください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ・砂質土壌の水田及び漏水の激しい水田(減水深2cm/日以上)
 - ・軟弱な苗を移植した水田
 - ・極端な浅植の水田及び植付け不良で根が田面に露出している水田
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分注意してください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- いくさの栽培予定水田では本剤を使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2019年2月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

GEP-SPR3A



アルテア配合
多年生雑草に強い!
「アルテア」増量配合



水稲用 中後期除草剤

ゲバード® 1キロ粒剤
ジャンボ®

※アルテアはメタソルフロンの変称です。 *当社「アルテア」配合一発剤との比較。 ®は登録商標

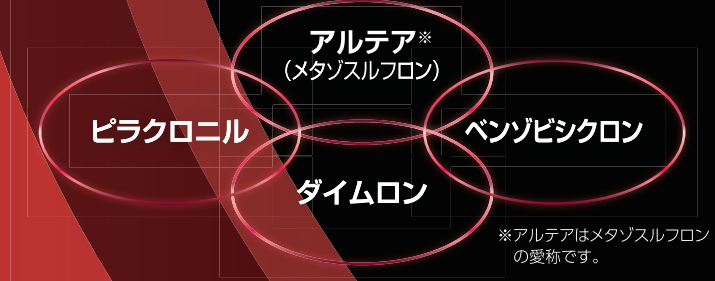
中後期除草への不満を解消する。 自信の4成分配合、ゲパード。

ホタルイ、ノビエ、クログワイ、オモダカ…
防除が難しい雑草も、枯れ残さない除草剤を。
そうした合言葉のもと、ゲパードは開発されました。
4つの優れた除草成分を組み合わせたことにより、
とりこぼしてしまった問題雑草も、
落水いらずの「湛水処理」でまとめて一掃。
これまでのとりこぼし除草への不満を解消する
プレミアム中後期除草剤、ゲパード。
さらに、ジャンボ剤もついに登場。ますます使いやすくなりました。

●ミズアオイ、クサネム、コナギ、イボクサなどの主要雑草もしっかり枯らします。



◎投げ込むだけで散布完了!



剤型	登録番号	有効成分				容量
		ダイムロン	ピラクロニル	ベンゾピシクロン	メタズスルフロンの愛称です。	
1キロ粒剤	第23688号	10.0%	2.0%	2.0%	1.2%	1kg入、5kg入
ジャンボ	第23983号	25.0%	5.0%	5.0%	3.0%	400g



適用雑草と使用方法

本剤及び、それぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数に制限を示す。

作物名	適用雑草名	使用時期	剤型・使用量	総使用回数 [#]
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ (1キロ粒剤のみ) ヒルムシロ、セリ オモダカ、クログワイ コウキヤガラ シズイ(1キロ粒剤のみ)	移植後14日 ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	1キロ粒剤 1kg/10a	本剤 1回 ダイムロン剤 3回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)
			ジャンボ 小包装(パック) 10個(400g) /10a	ピラクロニル剤 2回以内 ベンゾピシクロン剤 2回以内 メタズスルフロンの愛称です。 2回以内
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲2葉期 ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	1キロ粒剤 1kg/10a	本剤 1回 ダイムロン剤 2回以内 ピラクロニル剤 2回以内 ベンゾピシクロン剤 2回以内 メタズスルフロンの愛称です。 2回以内

各種雑草の散布適期

雑草名	1キロ粒剤	ジャンボ
ノビエ	4葉期まで	4葉期まで
コナギ	6葉期まで	6葉期まで
ホタルイ	花茎10cmまで ^{#1}	4葉期まで
ウリカワ		5葉期まで
ミスガヤツリ	4葉期まで	—
ヘラオモダカ		—
ヒルムシロ	生育期まで	発生盛期まで
セリ	再生期まで	再生期まで
オモダカ	矢尻葉3葉期まで	矢尻葉3葉期まで
クログワイ	草丈30cmまで	草丈30cmまで
コウキヤガラ	草丈10cmまで ^{#2}	—
シズイ	草丈10cmまで ^{#2}	—

*1:登録は花茎20cmまでですが、安定した効果のため10cmまでの使用をお勧めします。
*2:登録は草丈20cmまでですが、安定した効果のため10cmまでの使用をお勧めします。

【使用方法】1キロ粒剤：湛水散布又は無人航空機による散布。 ジャンボ：水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。

これまでの除草剤とは一味違うゲパードが、
あなたの中後期除草に対する不満を解消します。

水稲用 中後期除草剤

ゲパード
1キロ粒剤/ジャンボ

■ ゲパードの特長

1 除草成分アルテア[※]を増量配合^{*}！殺草力をアップさせました。
「アルテア」の薬量を12g/10aにアップ。大きくなった雑草も安定的に枯らせます。



※アルテアはメタソスルフロンの愛称です。 *当社「アルテア」配合一発剤との比較。

2 4つの優れた除草成分を合理的に配合しています。
残草しやすい「ホタルイ」「クログワイ」「ノビエ」「オモダカ」に強い成分を混合しています。

3 「ピラクロニル」「ベンゾビシクロン」が相乗的に作用します。
この2つの成分が相乗的に作用し、ホタルイやコナギなどをより確実に枯らします。

4 しかも、落水せずに散布することができます。
湛水のまま散布できるため、わざわざ落水する手間や時間が不要です。

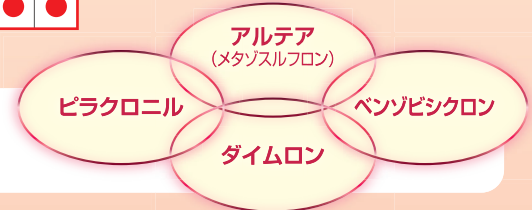
2 : 主要問題雑草に対する殺草スペクトラム

[生育期の雑草に対する効果]

有効成分	ノビエ	ホタルイ★	クログワイ	オモダカ★	アゼナ★	コナギ★
メタソスルフロンのアルテア	●	●	●	◎	○	◎
ベンゾビシクロン	△	●	△	△	△	△
ピラクロニル	◎	○	△	●	●	●
ダイムロン	-	○	-	-	-	-
ゲパード	●	●	●	●	●	●

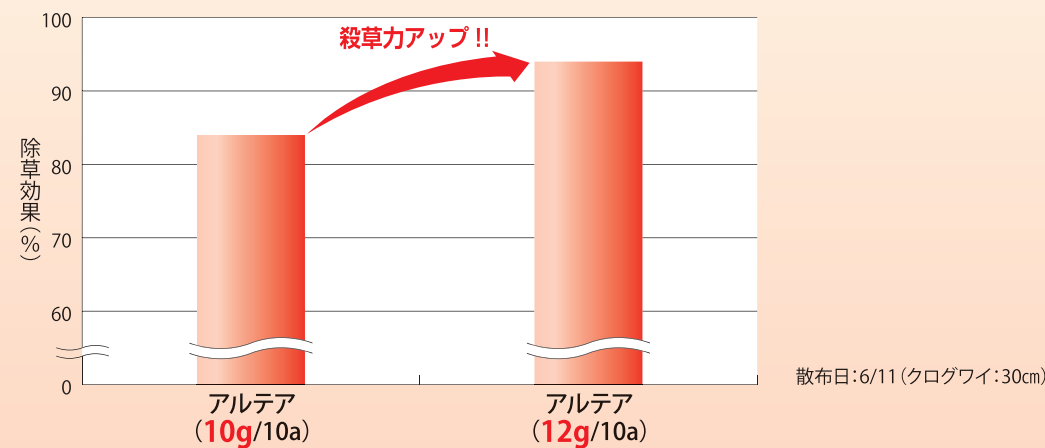
●: 非常に効果高い
◎: 効果高い
○: 効果あり
△: 効果やや低い
-: ほとんど効果なし
★: SU 抵抗性雑草

特長の異なる4つの成分を合理的に配合することで、
より幅広い種類の問題雑草を枯らせる中後期剤が完成しました。



1 : アルテア増量による殺草効果の比較

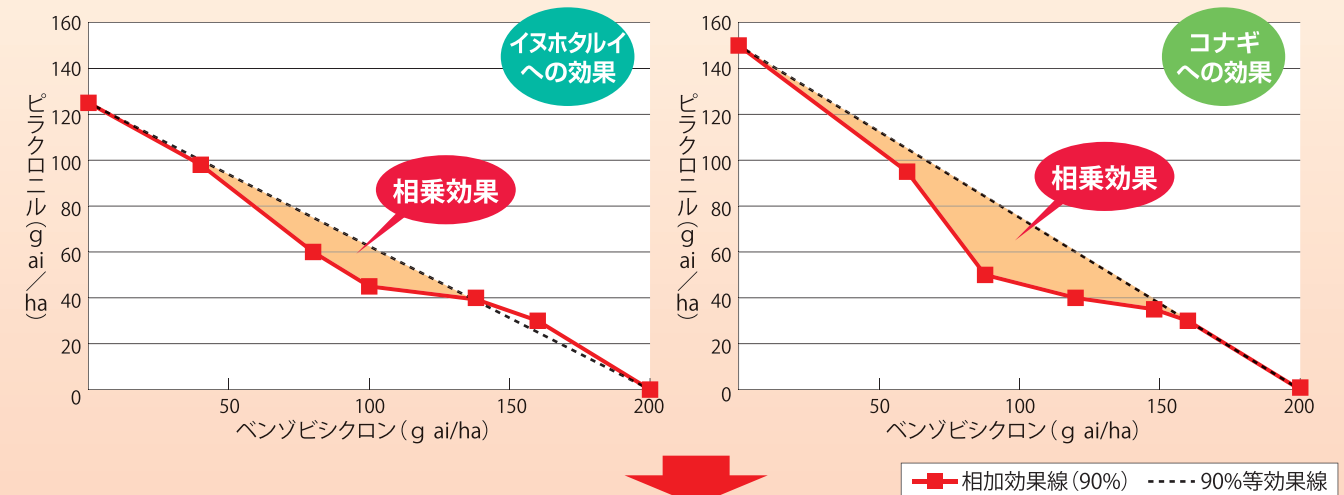
2014年 日産化学(株)生物科学研究所 栃木県宇都宮市園場



アルテアの薬量を増やすことで、殺草力をアップさせました。

3 : ピラクロニルとベンゾビシクロンの相乗効果

2005年 (株)エス・ディー・エス バイオテック つくば研究所 日本雑草学会発表



ピラクロニルとベンゾビシクロンが相乗的に作用。理論値よりも少ない薬量で効果を発揮しました。

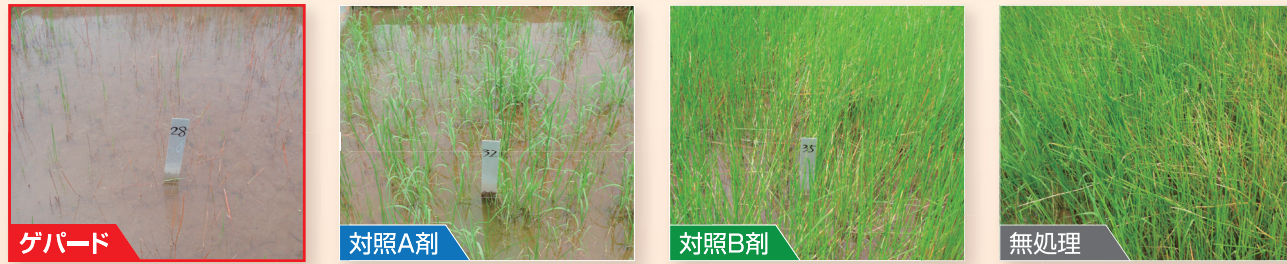
残草しやすい“問題雑草”に強い。
殺草力の高さは、試験でも実証されています。

新登場の中後期ジャンボ剤でも、
しっかり拡散し、効果を発揮します。



■ クログワイ・ノビエに対する効果

2014年 日産化学(株)生物科学研究所 栃木県宇都宮市園場



散布日:6/11(クログワイ:30cm、ノビエ:3葉期以上) 調査日:7/26(処理45日後)

■ ホタルイに対する効果

2015年 日産化学(株)生物科学研究所 埼玉県幸手市園場



散布日:6/3(ホタルイ生育期) 調査日:7/2(処理29日後)

■ コナギに対する効果

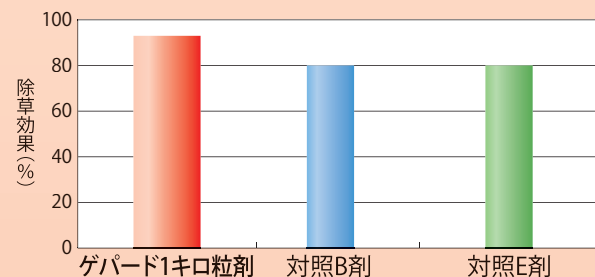
2014年 日産化学(株)社内試験 兵庫県加古川市園場



散布日:6/16(コナギ:4.5葉期) 調査日:8/1(処理46日後)

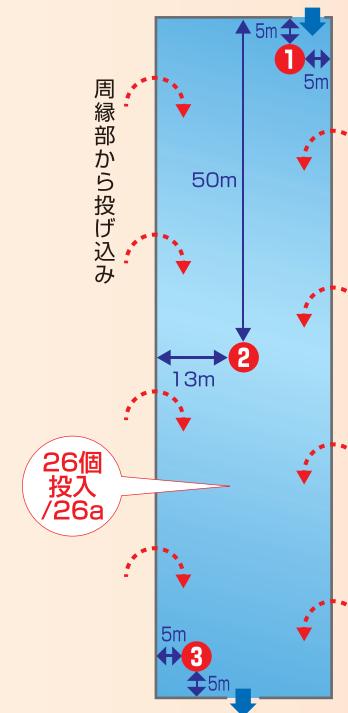
■ オモダカに対する効果

2015年 日産化学(株)社内試験 兵庫県加西市園場

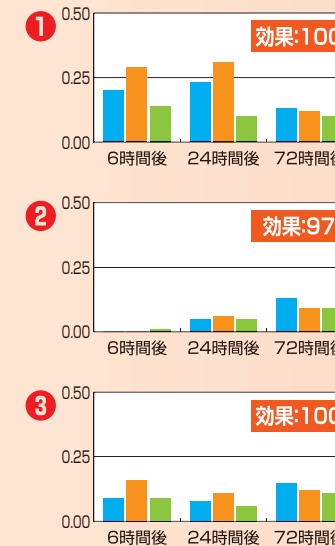


散布日:6/22(オモダカ生育期) 調査日:7/15(処理23日後)

■ しっかり拡散します。



■ 各成分の水中濃度 (ppm)

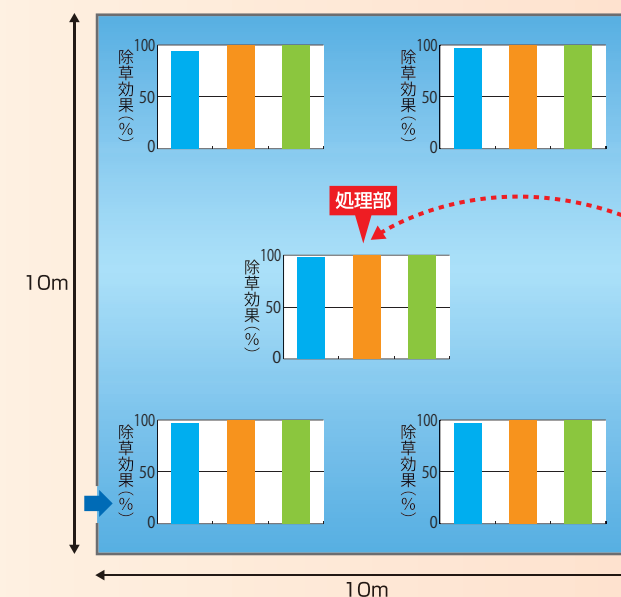


メタスルフロン(理論値:0.15ppm)
ピラクロニル(0.25ppm)
ベンゾピシクロン(0.25ppm)
※加水分解物を含む

2018年 日産化学(株)社内試験
試験地:埼玉県幸手市
試験区:26a(左図参照)
移植日:5/2
処理:○マーシェットジャンボ 5/4
○ゲバードジャンボ 6/3(+32)、
藻の発生なし、周縁散布
処理時:水稻草丈33cm、ホタルイ生育期
採水時期:処理後6時間、24時間、72時間
調査日:7/20(処理47日後)

72時間後、水田中央部を含め、成分は均一に拡散しました。

■ ムラなく除草効果を発揮します。



ホタルイ
コナギ
アゼナ

2017年 日産化学(株)生物科学研究所
試験地:埼玉県白岡市
移植日:5/24
処理:6/15(+22)、藻の発生なし
処理時:水稻草丈30cm、ホタルイ生育期、
コナギ舟形1葉期、アゼナ3-4対
調査日:7/12(処理27日後)

均一に拡散し、優れた除草効果を発揮しました。